

● 目次 ●

- シリーズ医療人⑨ p 2
- 大規模災害に備えて
認定看護師をご存じですか p 3
- 新任医師紹介 p 4

峡南医療センターだより



夏は来ぬ

富士川町平林の風景です。

真っ青な空に白い雲。棚田の蒼も鮮やかです。そして、遠くに見える富士山。中部横断自動車道の増穂 I C から 30 分程の平林で日本の夏の原風景を日の出から夜景まで堪能できます。ドライブがてら展望スポットを探してみてもいいでしょうか。

峡南医療センターは、地域の人達が望む医療体制を構築しながら、お気軽に相談できる病院を目指しています。

峡南医療センター企業団 山梨県南巨摩郡富士川町鯉沢 340-1 富士川病院内
TEL 0556-22-3150 FAX 0556-22-3151 URL <http://www.kyonan-mc.jp/>
市川三郷病院 TEL 055-272-3000 富士川病院 0556-22-3135
ケアセンターいちかわ TEL 055-272-5121 サンビューふじかわ TEL 0556-22-7301



住民の皆さんに峡南医療センターを身近に感じていただきたく、現場で働く職員を紹介しています。

第9回目は富士川病院、看護師長で**感染管理認定看護師**の堀口まり子さんです。

インタビュアーは、看護師長の笠井千春さんです。

Q これまでの経歴を教えてください。

A 感染に関わりだしたのは、平成17年からです。大学病院に勤務していた時に感染対策室の専従になり平成20年に感染管理認定看護師の資格を取りました。それから看護師としてのライフワークの一つとして感染管理をやっていきます。

Q 感染管理をやっていこうと思ったきっかけは何ですか。

A 最初は、上司の命令でしたが、やっていくうちに自分だけの考えでは難しい部分があり養成学校に通い資格を取りました。

Q 感染管理とは具体的にどういうことをするんですか。

A 究極の目標は患者さんの感染症を早く発見して感染を広げないことと、働いている職員が感染予防策をきちんと出来る体制をつくることです。

Q どんな時にやりがいを感じますか。

A 看護は、患者さんに直接ケアをして学ぶことが多いですが、感染管理は看護師だけでなく職員全体や患者さんの家族も対象になり、多くの人達がどういう知識を持っているか、どういう行動を起こしているかを考えながらやるところに、やりがいを感じます。私は看護師なので看護師としての意見は言えますが、他の職種については分からない部分が多いですが、それぞれの領域を超えた意見交換が出来るところが感染対策チームであり、そこにもやりがいを感じます。

Q 感染症は、いくつもありますが、この地域で注意することがありますか。

A 虫刺されによる感染症です。重症化する例もあるので注意が必要です。海外からの観光客や動物を介して地方でもデング熱やジカ熱が流行することがあるので情報はもっていた方がいいと思います。

Q これからの峡南医療センターに期待することがありますか。

A 地域の人達が望む医療を行える病院経営をやっていただきたいと思います。そのために、地域医療やチーム医療を重点的に行える体制をつくって多職種が協働して地域に根差した医療体制をつくっていくことにより病院の特徴が出てくると思います。富士川病院は、災害時の拠点病院になっているので、その果たす役割も大きいと思います。

Q お母様の介護に看護師としての技術が役立っていますか。

A 入院の患者様には優しく出来ますが、身内には優しく出来ない、つくづく感じます。なるべく手伝わなくて出来ることは、やらせませんが物がなくなったとき等には一緒に探すようにしています。以前出来ていたことが出来なくなっていることを感じながら介護しています。

Q 住民の方々に、お伝えしたいことがありますか。

A 病院を、ご活用ください。病院には色々な職種の人が出て、看護師も色々な役割をもって働いています。分からないこと、困ったことは何でも相談してください。感染症については、テレビ、新聞等で報道されています。そういう情報を持っていることにより、いざという時にパニックにならずにすむと思います。



大規模災害に備えて



富士川病院は、峡南地域の災害拠点病院に指定されております。

峡南地域は、東海地震・南海トラフ地震の想定でも、震度 6 強またはそれ以上とも言われています。

そのため、毎月災害対策委員会を開催し、総合防災訓練やトリアージ※訓練の計画及び大規模な自然災害や局地的災害に備え話し合いを行っております。

また、当院にはDMAT隊※が2チームあり、山梨県や全国のDMAT隊と協力して様々な訓練を毎年数回行っております。

この写真は昨年3月に行いました訓練の様子です。今後もこのような訓練を重ねていき、

いつ起こるかわからない大災害に備え、患者さん・住民の安全のために準備していきます。



トリアージ・・・医療資源と患者数との不均衡が生じた状況で、速やかに診療と搬送を行うために、治療の順位をつけたトリアージ区分に患者を迅速に分類すること

DMAT・・・災害発生直後の急性期に活動ができる機動性を持った、専門的な研修・訓練を受けた災害派遣医療チーム

認定看護師をご存じですか



認定看護師とは、患者様及び、その家庭によりよい看護を提供できるよう、専門性を発揮しながら、三つの役割「実践・指導・相談」を果たして、看護の質の向上に努めることができ、水準の高い看護を実践できると認められた看護師です。

専門的な治療や看護が必要な患者様・家族に対して、最適な看護は何かを認定看護分野の専門知識に基づき判断し実践し、他の看護師に対し、自らが手本となり専門知識や看護技術などを指導し、水準の高い看護を行えるように働きかけ、看護の現場で直面する問題や疑問の相談に乗り改善策を導きだせるような認定看護分野の専門知識に基づき支援をします。

特定されている認定看護師は21分野あり、全国で17,443名、山梨県では180名の認定看護師がいます。

富士川病院には、5名の認定看護師がいます。

●皮膚・排泄ケア(WOC)看護

- ・健全な皮膚を維持するためのスキンケア
- ・ストーマ(人工肛門等)周囲の皮膚等の管理、定期的な観察やトラブル時のケア方法指導
- ・適切な失禁装具の選択や皮膚トラブルに対してケア方法のアドバイス

●緩和ケア

- ・がんに伴う体と心の痛みや、つらさを和らげる
- ・患者様本人や家族が「自分らしく」過ごせるように支える

●がん性疼痛看護

- ・痛みと向き合う患者様を支援し、少しでも痛みを緩和させられるように手助けする

●感染管理

- ・患者様・来訪者・医療従事者・施設・環境を対象に、感染に対するリスクを最小限に抑えるために、正しくかつ効率的な感染管理を計画、実践、評価し、提供するサービスの質の向上を図る

●認知症看護

- ・認知症の人の権利を守ること、生活環境の質を高めること、自己決定を支援すること、家族を支援すること

院内外の研修会の講師や分野ごとの問題や相談にのり看護の現場で活躍をしています。

何かわからないことがありましたら、ご相談ください。



毎年5月12日は「看護の日」

5月12日は近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日です。高齢化社会を支えていくためには、助け合いの心を、私達ひとりひとりがわかちあい、老若男女を問わず誰もが育むきっかけとなるように旧厚生省によ



り、「看護の日・看護週間」と1990年に制定されました。当富士川病院も、毎年5月になると身長体重測定、血圧測定、血糖測定、栄養相談、保健相談等のイベントを開催しております。



新任医師紹介

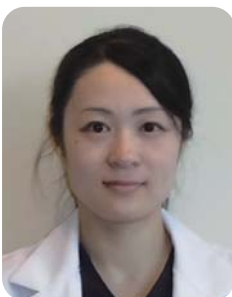
どうぞよろしくお願いたします。



着任日 平成29年4月1日
診療科 外科
職氏名 医師 芦澤 直樹
出身大学 弘前大学 医学部
卒業年度 平成19年3月卒業
専門領域 消化器外科

診療モットー

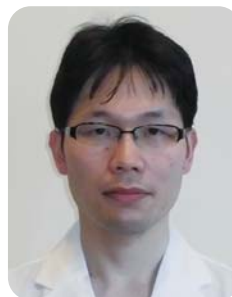
地域の医療に貢献できる様に頑張ります



着任日 平成29年4月1日
診療科 整形外科
職氏名 医長 勝 麻里那
出身大学 山梨大学 医学部
卒業年度 平成6年3月卒業
専門領域 整形外科

診療モットー

山梨県内ではまだまだ数少ない女性整形外科医です。患者さんひとりひとりに寄りそう医療を心がけています。



着任日 平成29年4月1日
診療科 内科
職氏名 医長 村岡 優
出身大学 山梨大学 医学部
卒業年度 平成20年3月卒業
専門領域 消化器内科

診療モットー

丁寧な診察を心がけています。



峡南医療センターだよりをご覧いただきありがとうございました。
夏本番を迎え、海や山の自然を楽しむにはベストシーズンですが、虫刺され等がつきものです。今号の「医療人」では、感染症の注意点等を記載させていただきました。参考にいただき、暑い夏を楽しく、快適にお過ごしください。

編集委員一同